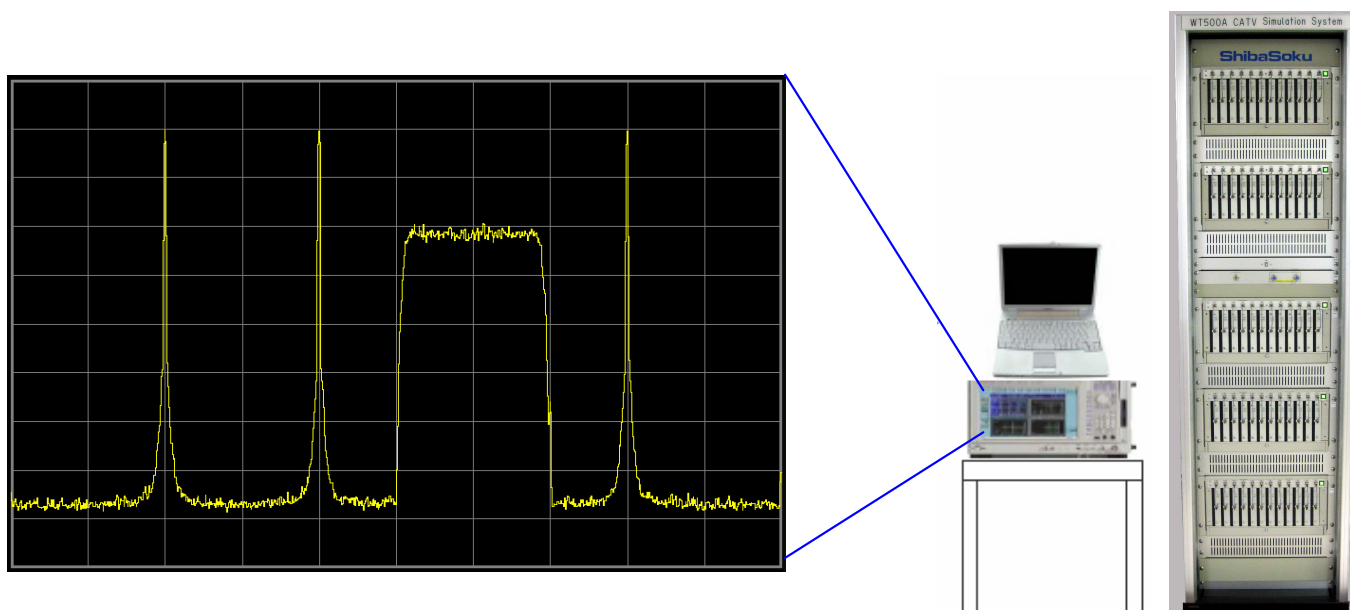


WT500 series CATVシミュレーションシステム

CATV Simulation System

(受注生産品)



■概要

WT500シリーズ・CATVシミュレーションシステムは、CATVの中継機器、端末機器、RFデバイスなどのRF諸特性を検査するためのシステムです。CATVは、1本のケーブルで多波を伝送するため、70波や120波などのRF信号を合成して機器やデバイスに入力し、内部ひずみによる受信妨害を検査する必要があります。

WT500は、CW信号、AM変調を出力することができます。更に新機能としてデジタル放送で使用しているISDB-C方式（16/32/64/128/256QAM変調）も出力することもできます。周波数チャンネルは、上り回線帯域（10MHz～60MHz）と下り回線帯域（70MHz～770MHz）内でチャンネルを御指定いただき、ご希望されるチャンネルプランで検査が容易に行えます。また、各チャンネルには、出力信号ON/OFF機能、チャンネル内の周波数可変機能、各チャンネルのレベル可変機能を装備しており、CATVで発生する輻射妨害、ケーブルロス、特殊な周波数特性を実現できるシミュレーションシステムです。

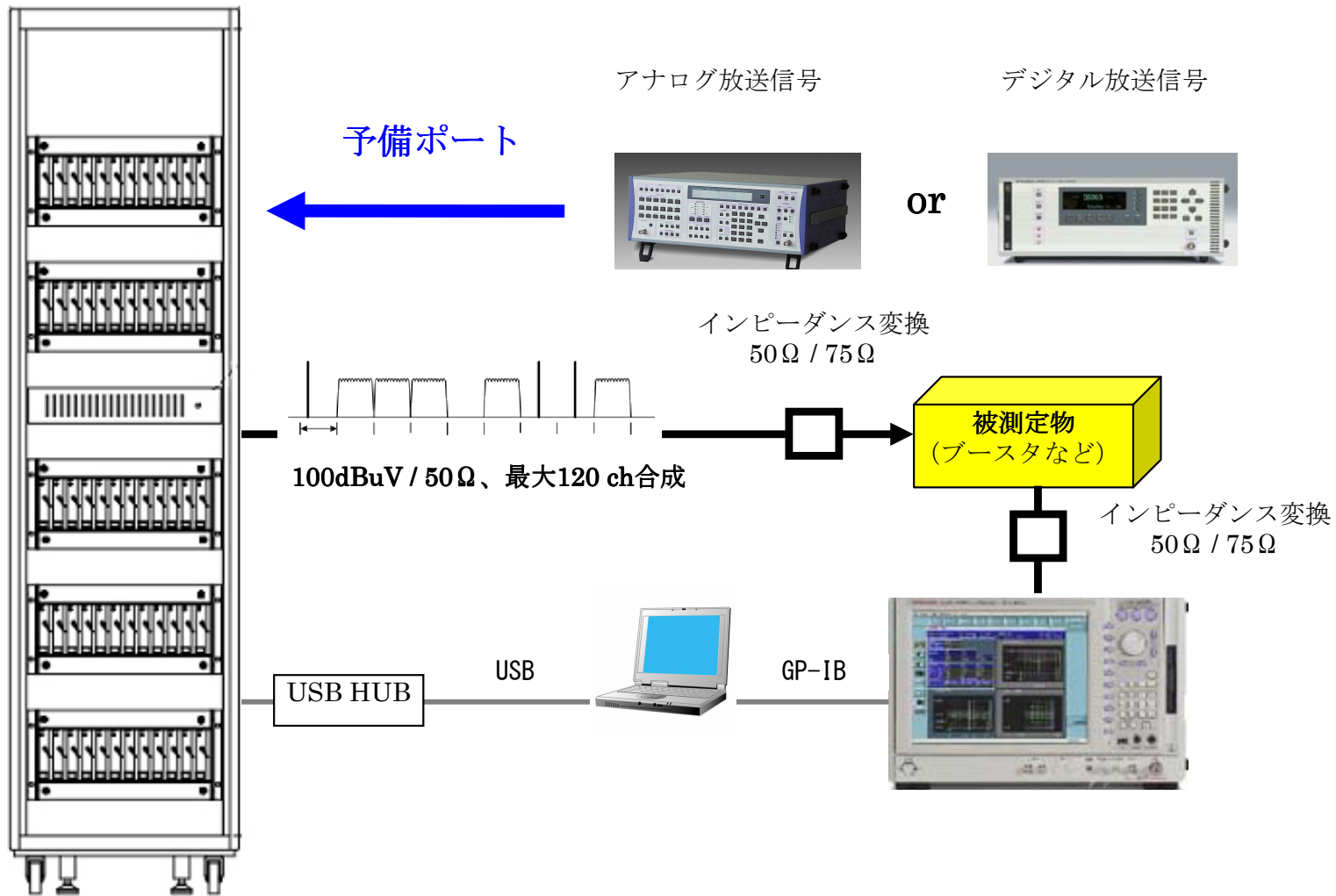
WT500は、予備端子を予め準備しており、外部からアナログ放送波、デジタル放送波などと組合せて妨害信号発生器としても使用できます。

■特長

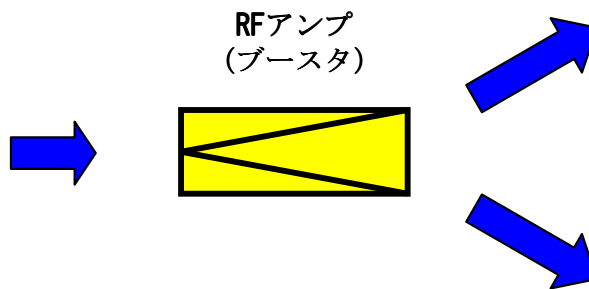
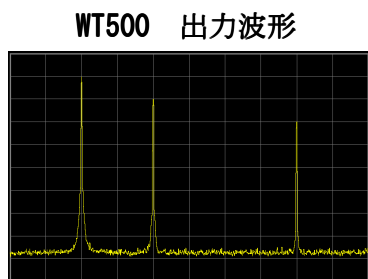
- ◇最大120波の信号を合成出力
- ◇変調は、無変調（CW信号）、AM変調、QAM変調（16/32/64/128/256）の3種類から選択可能
- ◇チャンネルごとに信号のON/OFFが可能
- ◇複合3次ひずみ（CTB）、複合2次ひずみ（CSO）、混変調ひずみ（XM）、相互変調ひずみ（IMD）の測定に最適
- ◇チャンネル周波数の可変機能
 - ・CW信号： 指定チャンネルの中心周波数より±3MHz（1kHz step）
 - ・変調信号： 指定チャンネルの中心周波数より±1MHz（1kHz step）
- ◇チャンネルレベルの可変機能
 - ・全チャンネル0～60dBのATTを内蔵（0.1dB step）
- ◇スペクトラムアナライザを用いたレベルシミュレーション
例)



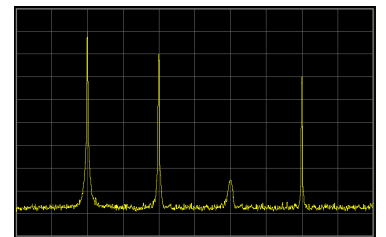
■システム概要



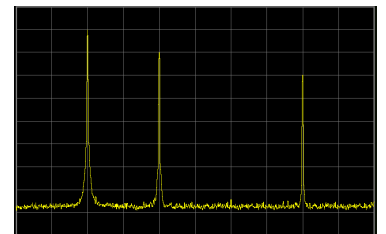
■測定例



一般的なアンプ出力波形



高性能アンプ出力波形



株式会社 **アサカ**

<http://www.asaca.co.jp>

E-mail: sales@asaca.co.jp

本社・日野工場
東京営業所
大阪営業所
筑波R&Dセンタ

〒191-0065
〒105-0004
〒532-0011
〒315-0022

東京都日野市旭が丘3-2-28
東京都港区新橋4-6-8芝産業ビル
大阪市淀川区西中島4-4-25 フルーレ新大阪413号
茨城県石岡市行里川1-3

Tel: 042-583-1211 Fax: 042-586-9000
Tel: 03-5405-6055 Fax: 03-5405-3955
Tel: 06-6302-5221 Fax: 06-6302-5226
Tel: 0299-56-3567 Fax: 0299-24-0781